



令和8年度 藤枝市立高洲小学校グランドデザイン



(大正14年制定)

【国・県・市の基本理念】

- 〈国〉・持続可能な社会の創り手の育成
 - ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上
- 〈県〉 未来を切り拓く人材の育成と
 - 社会を生き抜く力を育む教育の実現
- 〈市〉 豊かな学びで 笑顔をつなぐ

【校訓】(明治36年制定)

- 身体健全 (りっぱなからだになれ)
- 意思堅忍 (しっかりしたきしょうをもて)
- 感情高尚 (やさしいところをそなえよ)

【学校教育目標】

たりほ かしこく すこやかに

校歌(昭和3年制定)の歌い出しにある「垂穂(たりほ)」は、秋になり実って垂れ下がる稲穂のこと。学びが深く、心豊かに成長すれば、他への感謝と素直な気持ちが態度にも表れる。「たりほ」のように優しい心と賢さを備え、すくすくと伸びやかに成長する姿を願う。

【重点目標】 自分らしく がんばってかがやく ～オンリーワンのダイヤモンド～

〔高洲地区の教育を通して育てたい子供の姿〕

人のため 地域のために 自ら行動する子

- 思いやりの心を持ち 仲間と高め合う子 〈共生〉
- 目標に向かって 自ら考え行動する子 〈自立〉
- 高洲を愛し 高洲で活躍できる子 〈地域愛〉

学校経営方針

- ◆子供がまんなか
 - ◆授業で人を育てる
 - ◆3A(安心・安全・安定)の学校
- ～楽しくなければ学校じゃない～

高洲すこやか三ヶ条

- あいさつをしよう
- 家庭学習の習慣をつけよう
- 早寝、早起きを心がけよう

高洲地区

あいさつ子供サミット 共同宣言

私たち高洲地区の子供は、あいさつの大切さを考え、自然と自分から進んで気持ちの良いあいさつをすることを目指します。

一人一人が気持ちの良いあいさつをすることで人と人とのつながりが広がってほしいと願っています。

私たちは、笑顔あふれるあいさつをこの高洲地区の自慢にします。(R7.9.11)

〔高洲小児童会・高洲南小児童会・高洲中学生徒会〕

- ◎目標を持ってがんばることができる
- ◎明るく気持ちのよいあいさつをしている
- 学校が楽しい
- 授業で学習していることがわかる
- 友達と仲よく遊んだり活動したりできる

重点

90%



(学習支援<研修>)

学びづくり

仲間づくり

(特別活動支援)

なっとくするまで

とことんやる子

自分から 仲間とともに

チャレンジ

～子供の「?(はてな)」を大切に授業～

「やらされる宿題」から
「自分で決める家庭学習」へ

明るく気持ちのよいあいさつ
あたたかな関わり、優しい言葉かけ



みんなで育む

心づくり

(児童支援)

「みんなで育てる」「話せばわかる」「判断力を育てる」



家庭・地域とともに

高洲地区幼小中一貫教育〔キャッチフレーズ〕

見つけよう夢! 育てよう心! たかすの仲間と

～「人」「もの」「こと」との出会いがいっぱい～

高洲中学校区 学校運営協議会

高洲南小・高洲中との交流・連携

前期

第1ステージ(4～7月)

つくる

後期

第2ステージ(8～12月)

たかめる

第3ステージ(1～3月)

つなげる

- ◆子供が安心して学べる学校づくり(誰一人取り残さない支援、登校支援教室の効果的運営、学びにアクセスできない子供ゼロ)(個性に応じた適切な支援、ピア・サポート活動の推進、相談体制の充実、子供の権利・意見の尊重)
- ◆時代に合った「観」の定着・学校運営(時代に合った学校づくり)(令和の「教育観」(子供観・授業観・児童支援観など)の定着、「不易流行」「不易」の再考)
- ◆たかす すくすく プログラム(TSP)の推進(低学年)(小1ギャップへの対応)(幼保こ園との連携強化、積極的な情報交換・交流、適切な支援のあり方の確認)
- ◆学年(チーム)担任制の効果的運営(高学年)(中1ギャップへの対応)(「みんなで育てる」学年運営の確立、多面的・柔軟な支援・対応、ウェルビーイングの向上)

先生も元気!

働き方改革
チーム対応
不祥事根絶

